



## 1. 糸島市応急手当普及員講習会で

### “しんのすけくん” デモ体験実施

9月9日～11日の三日間、糸島市消防本部で開催されました「応急手当普及員講習会」にふれあいラボも参加しました。当日は、講習で行われる「胸骨圧迫（心臓マッサージ）訓練」の出来栄評価として、参加者の方の中で数名の希望者の方に体験頂きました。

本システムは「胸骨圧迫（心臓マッサージ）訓練」で指導された「圧迫の位置、深さ、リズム」などを数値評価するシステムです。今後も、ふれあいラボでは、糸島市消防本部で開催される救命講習に今後も参加し、参加者の方の習熟度向上に役立てる方法を考えていきます。

## 2. ホースセラピーでの「体圧センサー」活用の検討

9月25日、糸島市「社会福祉法人香月福祉会MUKA」様が主催するホースセラピーにふれあいラボも参加しました。

今回、MUKAに所属する理学療法士の方から『馬上での騎乗者の重心移動や体圧分布の変化を確認することで、騎乗者のサポートに活かせないか』とのご提案を頂きました。

通常、高齢者・障がい者の方の車いすのシーティング（床ずれリスク検知）に使用する「SRソフトビジョン」を持参し、実際に、鞍の上に敷き、騎乗での体圧の変化などを見られるか試験を行いました。騎乗での姿勢の違いや、騎乗でのストレッチ時の体圧の変化を見ることができました。



## 3. 「第6回糸島市民まつり」に参加しました

10月1日、2日に糸島市交流プラザ志摩館（糸島市志摩初30番地）特設会場で糸島市民まつりが開催されました。今回、「糸島応急手当普及の会」様にお声がけ頂き、「救命講習・AED体験」のコーナーで「しんのすけくん」にチャレンジ」と銘打って、市民の皆さんに「胸骨圧迫（心臓マッサージ）訓練システム“しんのすけくん”」を体験していただきました。

ふれあいラボでは“しんのすけくん”も常設展示しております。いつでも体験できますので、ぜひ、ふれあいラボへお越しください。



## 4.西日本新聞でふれあいらボが紹介されました

10月7日(金)付 西日本新聞朝刊(都市圏版)に、『産学官で福祉機器開発 糸島市の「ふれあいらボ」開設半年』と題し特集記事が掲載されました。

ふれあいらボ開設の経緯、アシストスーツの展示やラボでの取り組みなどが写真と共に紹介されました。産学官が連携し、より実用的な最新の福祉機器を生み出す拠点となるよう今後も取り組んでいきたいです。

また、記事で紹介されたアシストスーツなどはラボに常設展示しております。いつでも体験できますので、ぜひ、ふれあいらボへお越しください。



## 5.「すこやかフェスタ2016」に参加しました

10月9日、10日の2日間「県民幸福度No.1すこやかフェスタ2016」が福岡市のエルガーラホールで開催されました。このイベントは「健康寿命の延伸」を目的として、いつまで健やかにいきいきと過ごすことができるよう、健康に関する情報、商品、サービスを発信するものです。



出展ブース



知事へアシストスーツを説明

今回、ふれあいらボは「福岡県ロボット・システム産業振興会議」様のブースにて、九州大学山本教授と共同開発した「歩行アシストスーツ」を展示し、ふれあいらボのPRも行いました。9日には福岡県知事も来場されアシストスーツの説明に興味深く耳を傾けられていました。もっと多くの市民の方にふれあいらボを知っていただき、実際に体験していただきたいと思っております。